

ひたちなか表町商店街活性化プロジェクト

地域交流

代表者：人文社会科学部現代社会学科 1年 越中 未穂

連携先

合同会社 オモチャファクトリー

参加者

鈴木 楓子（人文社会科学部現代社会学科
1年）

佐藤ちひろ（人文社会科学部現代社会学科
1年）

堀江 巧実（工学部都市システム工学科
1年）

三浦 七海（工学部都市システム工学科
1年）

千田 七海（工学部都市システム工学科
1年）

プロジェクトの概要

当プロジェクトは、今年度夏に集中講義として開かれた地域活動の授業であるPBL授業を受講し、地域活動に興味を持った、あるいはもともと地域活動に興味を持った人で集まり、プロジェクトを立ち上げた。

当プロジェクトは、PBL授業で取り扱った、ひたちなか市勝田駅周辺の表町商店街を活性化させるべく発足したものである。この表町商店街とは、居酒屋が多く、夜の賑わいが多いが、一方で子育てをするための施設や家族向けマンションの立地が多く、昼間は本来子育てをする母親同士が歩いているはずが、昼間でも閑散としている。また、これから家族向けの施設がより増えていく方針があるのにも関わらず、そこに住む地元住民が住みやす

い街等誇りに思っている部分はまだまだ少ない。そこで、私たち大学生が地域活動として活性化の一部に参加することで注目を浴び、さらには自分の住む町はこんなところだったのか、と地元の人々に思ってもらえるよう、地域から発信するという面も持っている。また、地域活性化にともない、PBLの授業でお世話になった方々と相談をしながら活性化について考えていく方針である。

プロジェクトの成果報告

当プロジェクトは、スタートアッププロジェクトのため、主な活動は勝田駅周辺にある地域交流館にて会議のみ行った。地域交流館での会議では、ワークショップを行い、勝田駅周辺の歴史などを学びつつ、それを活かしながらどのように発展していけばいいか討論を行った。そこで出たアイディアはこの先に活かすつもりである。これから、ますます会議を重ね、表町商店街を活性化させるべく地域に対して密着し地域の人に耳を傾け、決してプロジェクトが一人走り、あるいは望まれない活性化をしないよう活動していく方針である。まだまだ確定したものができないが、地域と一緒に、活性化というゴールに向かって連携先の方々とともに走っていく所存である。